

新型コロナウイルス感染症に関連した道教委と校長会・教頭会との意見交換会

- 8月11日に道教委主催で、「新型コロナウイルス感染症に関連した道教委と校長会・教頭会との意見交換会」が、道教委のTV会議システムを活用し、道教委本庁と14の教育局を結んで行われました。
- 本意見交換会につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行われておりました「文教施策懇談会・各課懇談会」が中止になったことを受け、「新型コロナウイルス感染症」に特化して、開催されました。
- まず、道小、道中、道公教の会長が、それぞれの立場から、意見を述べました。
- 道小では、神谷会長が、全道会長研修会において取りまとめた特に3点にわたって道教委へ要望しました。
- 1つ目は、「人的支援」について、具体的には、「少人数学級の早期の実現」と「学習支援員等の人材確保」、2つ目は、「学びの保障」について、具体的には、「オンライン学習に係る環境整備」、「道教委による指導動画の系統的な提供」、「ICT支援員の配置」、3つ目は、「教育の再編成」について、具体的には、「感染リスクの高い学習活動」、「学習指導要領どおりの扱いが困難な内容についての具体的な指針」、「学校行事のモデルの提示」についてです。
- その後、①教育課程、②生徒指導、③教育環境整備の3点を大きなテーマとして、忌憚の無い意見交換がなされました。
- 具体的な内容につきましては、この後、角田副会長と阿部副会長にご報告をお願いしております。
- 初めての試みではありましたが、新しい形の意見交換会の形を模索できたものと考えております。
- お手元の資料は、出席いただいた道小・道中の皆さんのアンケートをまとめものとなりますので、参照ください。
- 主な意見といたしましては、「意見交換の柱はあったが、実際には多岐にわたる話題が次々と出されたので、順番に話が出されたわけではなかった。」、「ICTの整備など、道教委の考えや進捗状況について情報をいただくことができた。」、「次年度もオリンピックがあれば同じような取組になるであろうし、その場合のための一歩を踏み出せたので、次年度はもっと時間をとり、回答もあり交流するような流れをつくっていきたい。オリンピックがなければ、いつもの文教施策懇談会・各課懇談会にもどしてよいと思う。各課懇談会にざくばらんな交流があるとよい。」などの意見が出されました。
- 来年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や東京オリンピックのマラソン・競歩の開催などもあり、流動的になっております。
- なお、会場によっては、音声の不具合等が発生したと報告を受けております。現在、道教委が記録をまとめてくださっておりますので、後日、皆様にも情報提供したいと考えております。
- いずれにいたしましても、今後も、内容を充実させながら、新しい形の「文教施策懇

各教育局・地教委への要望活動について

- 令和3年度の「要望書」の作成に当たり、20地区の「各教育局・地教委への要望活動」について、取りまとめる時期となりました。
- 令和3年度に向けましては、道中が中心となり、「要望書」を作成して参ります。
- お手元の資料「教育局への要望活動並びに次年度道教委への要望事項の集約に向けて」の「1 各地区への依頼方法と手順」にありますとおり、9月7日に各地区理事の皆様へ「様式1 令和2年度 教育局及び道教委への要望内容集約表」を送信し、集約依頼のお願いをいたしますので、御協力をお願いいたします。
- なお、集約いただいたデータについては、道中の事務局次長三浦校長先生に直接送信いただくことになっておりますので、御承知おきください。集約に当たりまして、御不明な点がございましたら、石川まで問い合わせいただくようお願いいたします。
- 「要望書」作成に当たり、今年度は、「子供と向き合う時間の確保や学校における働き方改革」に関わる事項をまとめたところであります。
- 令和3年度に向けては、新型コロナウイルス感染症対策に関わる事項や新しい学校生活に関する要望についても、取りまとめていかなければと考えております。集約用紙の最後のページが、新たな要望等を記述いただく欄となっておりますので、そちらに記入いただければと思います。